



大森二中だより

令和3年度 大森二中の合言葉「思いやり」
スローガン 笑顔満開 いつも心に太陽を！

令和3年10月号
大森第二中学校
校長 成清敏治
電話 3762-6456

「前向き」ということについて

今月は、「早寝・早起き・朝ごはん月間」と「体力向上努力月間」になっています。どちらも心身の健康にはとても大事なことです。生活習慣を見直しながら、適度に身体を動かして、毎日気分の良い日を過ごしてください。

今日は「前向き」ということについて、話をしたいと思います。

人間の目は前についています。後向きに歩く人はいません。どの方向を向いても前に歩きます。時間も逆戻りしません。前に進むだけです。人の性格や生き方でも前向きの人と後向きの人があります。過去を踏まえて前を向いて生きていくなら過去の出来事も生きてきますが、過去のことばかり気にする生き方は、あまり良いとはいえないと思います。そのことから、前向きという言葉の意味も推測できるはずで

でも前を向くといっても、ずっと先のこと…例えば老後のこととかを考えているかということそうではないはずで

す。部活動の試合や定期考査の試験、3年生はこれから迎える受験など、そこでいい結果を出したいと思っているはず。そのいいイメージをもって、前を向くことが前向きの意味になるのかと思います。しかし、本番で力を出そうとするのは当たり前のこと。でも積み重ねた分だけの力しかないのも事実です。ということは、「前向き」の本当の意味は、その結果を出したい本番に向け、今をどう生きるかを真剣に考えること。そして「徹底して準備の質を磨くこと」、ここに尽きるのではないのでしょうか。部活動で結果を出したいなら、どんな練習をしているのか。定期考査や受験で結果を出したいなら、どんな計画を立てて準備をしているのか。準備がすべてだ、ということ胸に刻みつけてもらいたいと思います。

『120%の準備が自分を支える』との言葉が私は大好きです。この言葉は2年前の全校朝礼で話をしました。3年生の皆さんは覚えていますか。

どこまで準備してもしすぎることはない。悔いを残すということは、本番で結果を残すための準備をやり尽くしてないからだ。この言葉はそう呼びかけているのだと思います。今年もあと3ヶ月。前向きに頑張りましょう！

(10月4日 全校朝礼にて)

今後の学校行事について

- 10月25日(月)～ 合唱コンクール練習時程
- 11月 2日(火) 合唱コンクール(本校体育館)
⇒体育館の規模、全校での開催を想定 無観客の可能性あり
- 11月 4日(木)～ 3年三者面談(進路相談)

